

全国B.M.C.(全国宴会支配人協議会)からの月1回の通信です。

内容:

・10年後のホテルのFB
業界

・BMCの歴史

・北海道いいね!

北海道 B.M.C.

編集後記

10年後のホテルのFB業界

もはや大手と言われる企業でさえ生き残れる時代ではありません。リストラが相次ぎ、最終的には倒産へ。どの業種とは限らない現実です。これは日本の人口減少がひとつの要因だと思えます。人口が減少するということは世帯数も減少します。多くの家電は1家に1台あれば十分ですし、性能が向上したので故障して買い替えるなんてこともほとんどない。日本国内の需要は少ないと言えます。しかし世界で見ると人口は増えています。現在約72億人の人口が10年後の2025年には80億人、20

50年には90億人を超えることが予想されています。(アメリカ合衆国統計局)つまり、これからは国外のマーケットへ目を向けなければいけないということです。いくら国内リピーターを増やしても限度があります。宿泊部門はすでに海外マーケットを開拓しています。FB部門はどうでしょう。まだまだ不十分だと思います。理由はいろいろあります。ひとつは調理人主体になっていることです。これはサービスをおろそかに考えているからだと思います。料理はもちろん大事です。しかし気の利いた細やかなサー

ビスは日本人特有のもので、日本人のサービスを世界遺産に登録するくらいの覚悟で望んで欲しいものです。もう一つ、残念ながら外国語を話せないサービススタッフが多すぎます。10年後もFB業界で働きたいと思うのであれば外国語を話す能力が必要です。若いスタッフにはぜひ今のうちから外国語を習得するように勧めていただきたいと思います。

全国BMC
会長 伊藤 保

BMCの歴史

B.M.C.の歴史について、よくご存知ではない方もいらっしゃるかと思いますので、簡単にご紹介させていただきます。その歴史は、第一次ホテルブームまで遡ります。実は全国B.M.C.よりも東京B.M.C.のほうが歴史が古く、昭和42年(1967)東京を中心とした各ホテルの宴会担当者によって発足しました。主旨は勉強、親睦を通じて、各ホテル間の情報交換や宴会技術の向上を図ろうというものです。

その後、日本全国のホテル宴会部門のレベルアップを図ろうと昭和47年(1972)

全国B.M.C.が発足し、今日に至っています。

現在B.M.C.は日本国内12地区に存在します。各地区の発足は以下のとおりです。

昭和42年 東京B.M.C.
昭和48年 福岡B.M.C.(現在の九州B.M.C.)
昭和49年 大阪B.M.C.
名古屋B.M.C.
昭和52年 東北B.M.C.
昭和53年 中国B.M.C.
昭和59年 沖縄B.M.C.
広島B.M.C.
平成1年 北海道B.M.C.
平成2年 北陸B.M.C.
平成4年 四国B.M.C.
平成5年 京滋奈B.M.C.

ちなみにソムリエ協会は昭和44年(1969)(当時は飲料販売促進研究会B.M.R.G.)、日本ホテルレストラン・サービス技能協会は昭和60年(1985)に誕生しています。

B.M.C.よりも古い歴史があるのは、昭和37年(1962)に発足したHBG(現在のHBA)、明治42年(1909)発足の日本ホテル組合(現在の日本ホテル協会)です。

全国B.M.C.会長
伊藤 保

北海道いいね！

皆さんこんにちは。北海道B.M.C.会長の平尾です。今回は北海道 札幌周辺をPRさせていただきます。北海道札幌は豊かな緑に彩られた街、市民や観光客の憩いの場として愛される大通り公園をはじめとして市内のそこに点在する数々の公園や街路樹が四季を通じて目を楽しませてくれます。北海道の歴史と文化の中心地である札幌はまた、食と遊びの中心地でもあります食はといえば、カニやウニなど豊か

な北の海がもたらす新鮮な海の幸はもちろんのこと、名高きさっぽろラーメン、最近では全国区で人気を博すジンギスカンなど北海道と聞いて思いつくありとあらゆる味覚が揃い、1日2日では到底味わいきれないほど。そして遊びはというと、春夏秋冬いつでも夜の喧騒をたのしめる歓楽街すすきのに加え、季節ごとに催される雪まつりやYOSAKOIソーラン祭りなどの大イベントが札幌の街を賑わせているのです。中心

市街からほんの少し足を延ばせば小樽。明治中ごろから北の商都として栄えた小樽。港には多くの船が集まり、それらの船から倉庫に荷物を運ぶためにつくられたのが小樽運河です。戦後、役割を終えてすっかりさびきっていた小樽運河は1979年、その半分を埋め立て散策路を設けて現在の形に整備されました。かつて荷揚げされた物資を収めた石造倉庫は今も運河沿いに立ち並び、夜になると柔らかに光る

全国 B.M.C.

2013-2014 年度会長

ホテルグランヴィア広島
伊藤 保

〒732-0822
広島市南区松原町
1 番 5 号

TEL:
082-262-1111

FAX:
082-262-4050

E-MAIL:
t_ito@hgh.co.jp

Web サイト

URL:
<http://www.e-bmc.com/>

ガス灯とともに、小樽運河の郷愁あふれる景観をつくりだしています。また経済的な繁栄は町に大手銀行や商社を引き寄せ、一流の建築士を起用した社屋が次々と建造されました。「北のウォール街」の異名をとるほどの繁栄が遠い過去となり、多くの企業が撤退した今でも、日本銀行小樽支店をはじめとする名建築の大半は残り、近代建築の博物館として専門家の注目と観光客を集めています。小樽のもうひとつの顔は「すしの町」漁港と卸売

市場とが市街地のすぐ近くにある小樽は、鮮度のよい近海もののネタを安く仕入れるには最高の立地なのです。そして安くておいしい名物の寿司を味わった後は、やはり港町ならではの漁業用浮き玉の製造で発展したガラス工芸品の店でショッピング。どこか素朴な温もりを感じさせるガラス製品の数々は眺めるだけでも十分に楽しめます。また昭和の大スター石原裕次郎の記念館があり、1階には映画のセットや当時のレコードなど俳

優、歌手の裕次郎にちなんだものが展示されており、2階では愛車や海を愛した裕次郎のプライベートが紹介されています。演技や歌、その生き方に魅せられたファンたちの訪問が途絶えることはありません。

以上北海道のPRをさせていただきます。今後とも宜しくお願いいたします。

北海道 B.M.C.
会長 平尾 昌司

編集後記

先日感性磨きのため、映画館で「テルマエ・ロマエ II」を観てきました。前作同様、面白い映画でした。現代のものを古代ローマで再現するのは、真似事とはいえ素晴らしい才能だと思います。そんな観方をしつつ普段の仕事を忘れて笑わせていただきました。感性を磨くには映画鑑賞だけでなく美術館鑑賞、スポーツ観戦なども効果があります。

スポーツ鑑賞といえば、

今年はFIFAサッカーワールドカップがある年です。たしか6月から7月にかけての開催ですね。日本はどうでしょう。Jリーグが発足してから、確実に日本のサッカーのレベルは高くなりました。景気に影響が出るような結果を期待したいと思います。

商標の取り扱いにはご注意ください。ご存知とは思いますが「オリンピック」同様、「ワールドカップ」という言葉は無許可で使用できませ

ん。業界として同じ過ちを繰り返さないようにしましょう。

■「いいね！」の予定
5月・・・北海道(今回掲載)
6月・・・沖縄(次回掲載)
7月・・・四国
8月・・・東京
9月・・・京滋奈

次回沖縄 B.M.C.新川会長です。沖縄を PR してください。